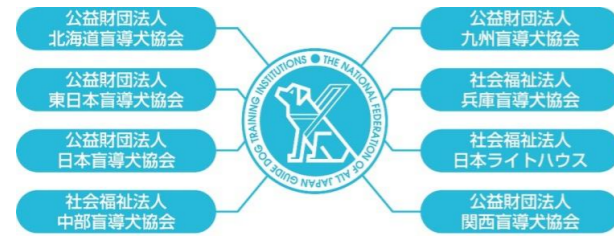


令和7（2025）年度 事業活動 報告書

（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）

認定特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

事業活動結果



「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、視覚障害者が盲導犬を使用し自立と社会参加を図れるよう、全国の盲導犬訓練施設法人施設の連合体として、広く盲導犬の普及啓発、相談、盲導犬無償貸与ならびにフォローアップへの助成・補助等を実施した。

1. 普及啓発事業

- 1) 広報誌デュエット35号15万部、ポスター6千枚を作成、ならびに店舗等の入口に貼っていただく補助犬同伴可ステッカーを無償配布した。
- 2) 視覚障害者向け盲導犬情報（点字版、墨字版、CD版）を2回（9月35号、3月36号）発行し、盲導犬ユーザー、盲導犬育成施設、点字図書館、都道府県視覚障害者担当部局などに配布した。
- 3) 募金箱備え付けリーフレット「ともに生きる ともに歩む」の内容を刷新し、3000部印刷した。
- 4) パトラッシュ基金リーフレットの内容を刷新し、5000部印刷した。
- 5) 「盲導犬とユーザーの暑さ対策」について各施設の対応を取りまとめ、WEBサイトへ公開した。
- 6) 盲導犬受け入れ全国調査（2025）報告書を都道府県の視覚障害者担当部局等へ配布した。
- 7) 東京都生活衛生営業指導センターを通して、盲導犬受け入れ全国調査（2025）結果の啓発チラシを同センターへ加入する組合団体に2000枚配布した。
- 8) DUETサポーター向けの活動報告書DUETサポーター通信VOL.6を400部発行し、サポーター会員および支援企業へ配布した。
- 9) 連合会オリジナル盲導犬カレンダーを例年通り作成して、寄附者や関係各所へ配布し、盲導犬事業への理解・協力と普及の促進に努めた。
- 10) 啓発イベント（盲導犬ふれあい教室など）を、全国で合計33回実施した。
- 11) 盲導犬事業への寄附・募金箱設置協力者・企業へ、良い機会を捉えて感謝状を贈呈・郵送し、感謝の意を伝えた。
- 12) 大手スーパーに設置している等身大盲導犬募金箱について、46台の修理入替を行い、盲導犬事業への協力と継続依頼に努めた。
- 13) パトラッシュ基金では、日本アニメーションのイベントにて募金活動を行った。



2. 相談室事業

- 1) 盲導犬貸与希望、入店拒否、使用者相談、事業者・市民からの相談など172件の受付対応を行い、加盟施設と協力してすみやかに具体的な解決を図った。
- 2) 盲導犬の不適正使用の目撃クレーム通報について、加盟施設と連携して調査を迅速に行い、対応結果を求める通報者には丁寧に説明回答するなど盲導犬事業に対する理解を求めた。

3. 資格認定事業

- 盲導犬訓練士5名、盲導犬歩行指導員2名の計7名を、資格認定審査要綱に則り、以下のとおり知識・技能を確認し、資格を認定した。
- ・学科修得確認テストを8月と12月に実施
 - ・実技審査会ならびに実技審査評定を事前収録映像を用いてオンラインにて実施。歩行指導員2名は役員面接を行い、2月開催の資格認定委員会にて7名の判定を行った。
 - ・資格認定委員会を4月、9月、12月、2月の4回開催
 - ・3月開催の理事会に本年度の資格認定者を付議

4. 研修事業

- 1) 連合会加盟施設職員相互研修事業を、本年度は計5テーマ開催し、現地開催にて2テーマ「パピープログラム」「訓練研修」、オンラインにて3テーマ「補助犬団体の動物福祉」「広報・事務担当者研修会」「盲導犬歩行指導研修」を実施した。
- 2) 盲導犬歩行指導員資格認定受験者の審査要件であるスクーリングに関して、資格認定委員会での共同訓練事例発表を実施した。

5. 使用者団体との相互協力事業

- 全日本盲導犬使用者の会(全犬使会)の定期総会ならびに交流会に、連合会職員及び、近隣施設職員を派遣し開催サポートを行った。

6. 情報交換及びネットワーク構築事業

- 1) 加盟施設の運営責任者全員による運営委員会を4回開催し、盲導犬の育成訓練と普及、事業に係る諸課題について協議した。
- 2) 令和6年度（2024）盲導犬訓練施設年次報告書「(社福)日本盲人社会福祉施設協議会編」の印刷と関係部署への発送を行った。
※令和8年3月末日現在、国内の盲導犬実働数は745頭。国内の盲導犬育成訓練指定法人全11団体が令和7年度中に育成した盲導犬の頭数は100頭。内訳は、新しく盲導犬ユーザーのパートナーとなった盲導犬は21頭、2頭目以降の代替犬は79頭。
- 3) ANACargoの協力により実施している盲導犬割引輸送利用は、計13回行った。

7. 財政基盤支援事業

- 1) 加盟施設の貸与中盲導犬587頭について、犬の健康管理、使用状況確認、ユーザー相談等を行うフォローアップに必要な費用の一部助成を行った。
- 2) 盲導犬の無償貸与促進を図るため、加盟施設が実施する盲導犬無償貸与にかかる費用の一部助成・補助（1頭200万円）を、助成として6頭分、連合会「特定資産積立金」取り崩し補助として5頭分、合わせて11頭分（2200万円）施設をとおして希望する視覚障害者に行った。

8. 調査研究事業

本年度は行わなかった。

9. 国際交流事業

6月にイギリスのウォリックで開催された国際盲導犬連盟セミナーに参加した施設の職員の参加費・旅費等の助成及び共通経費の通訳料について助成した。

10. 顕彰事業

本年度該当者はなかった。

活動計算書

（単位：円）

1) 収益の部		金額
大科目	中科目	
受取会費	正会員受取会費	800,000
	計	800,000
受取寄附金	個人寄附金	26,315,303
	団体・法人寄附金	5,653,503
	特別寄附金	13,655,109
	募金	54,857,288
	計	100,481,203
その他収益	受取利息	698,513
	指定正味財産振替額	10,000,000
	計	10,698,513
経常収益計		111,979,716
2) 費用の部		金額
大科目	中科目	
事業費	人件費	25,920,304
	普及啓発事業費	13,548,475
	相談室事業費	524,294
	資格認定事業費	324,935
	研修事業費	1,033,620
	使用者団体相互協力事業費	32,670
	情報交換・ネットワーク事業費	1,165,374
	財政基盤支援事業費	41,480,000
	調査研究事業費	53,360
	国際交流事業費	3,000,000
	顕彰事業費	0
	計	87,083,032
管理費	人件費	2,877,870
	その他管理費	3,953,499
	計	6,831,369
経常費用計		93,914,401
当期経常増減額		18,065,315